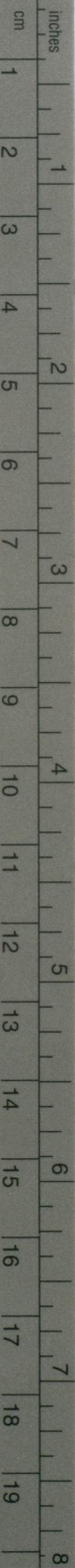


Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



明治三十年四月刊行

水-1



1200701536830

日本水路誌第二卷追補 第一

臺灣西岸東港附近

水路部

水-1

日本水路誌第二卷追補 第一

本記事ハ明治二十九年十二月ヨリ三十年二月ニ至ル間軍艦海門乗組高野瀨海軍大尉ノ實驗報告ヨリ採ル宜ク日本水路誌第二卷附録第九二頁一行ヨリ九五頁三行迄ヲ抹殺シ其間ニ挿入スヘシ

明治三十年四月

水路



海岸

打狗ヨリ東港ニ至ル海岸ハ長サ十三里鳳鼻頭ヲ除クノ外總テ沙濱ニシテ卑低ナリ岸上處々矮林叢生シ樹叢アル處ニハ大抵漁夫居住ス

此邊ニ於テ目標トナル者ハ北ニアツテハ打狗山(高サ一一六三呎)南ニアツテハ小琉球島(高サ一一九一呎)トス雲霧ナキ場合ニアツテハ東港ノ内方約二十里ニアル一大著峯大北葉山(最高一〇一九七呎)ヲ望見シ得ヘシ

枋寮ノ東方約六里ニアルカンインソク觀音山(高サ四五二九呎)巖阿林山(高サ四四〇二呎)及東港ノ南東方約二十里風港ノ背面ニ聳立セルギヤマナリ里龍山(高サ三五四九呎)北方ヨリ望メハ乳房頭ノ如シノ如キモ目標トナスヲ得ヘシ

鳳鼻頭ホンビノダケ

打狗旗後島ノ南東方八里ニアル一岩角ニシテ鳳山ト稱スル蒲鉾形ノ如キ平滑山(高サ四七八呎)ノ盡端ナリ角上高サ八十一呎角端ニ高サ二呎ノ一小離岩アリ

此角ト鳳山トノ間ニ又一ノ顯著ナル雙頭ノ岩山アリ鳳膾山ト曰フ高サ二五八呎北西或南東ヨリ見ルキハ馬鞍ノ如シ

線尾鼻サアゴイビ

鳳鼻頭ノ南東方三里ニ斗出セル一沙嘴ニシテ鳳鼻頭ト東港トノ殆ト中間ニ當ル嘴ノ高サ一呎乃至二呎嘴ノ附近ハ水淺ク破浪常ニ翻跳ス

東港ダンカン

海圖第三七五號(近刻)ヲ見ヨ

打狗港ノ南東方十三里ニアル一河口ナリ河口ノ前面三鏈以外ハ水深十尋乃至廿尋以上ニシテ夫ヨリ以內ハ急ニ減シテ七八尋或二三尋トナル○河口ハ時期ニヨリ沙洲變遷シ形狀一ナラスト雖常ニ填塞スルヲナク深サ一呎乃至六呎ヲ有シ小舟ハ河上約一里ノ處マテ溯行スルヲ得ヘシ然レモ毎年二月以後ハ河上減水シ流勢隨テ鈍ク河口ノ沙洲擴延シテ舟路狹窄トナル夏時降雨期ニ至レハ河水相増シ再ヒ開廣スト云フ○河口ヨリ偏西方距濱三鏈以外ハ水頓ニ深ク三十尋乃至五十尋一里餘ニシテ百尋トナル又河口ノ南方ハ概シテ淺ク距岸五鏈ニシテ四尋乃至七八尋其レヨリ外方ニ至リ漸ク深ク十尋乃至十七尋ナル沙泥ノ一堆ヲ成シテ西方ニ擴延シ其盡端ハ河口ヲ距ル南西方約二里ノ處ニ至リ四十二尋ノ深水地ニ達ス立標

今回河口北岸ニ木造白塗ノ三角形立標(高サ二十七呎)ヲ設置ス其位置ハ北緯二二度二七分三六秒東經一一〇度二六分半ニ當ル

錨地

河口ノ南東方一里八鏈ニアル南坪樹叢(高サ四十一呎)ヲ正東ニ河口北岸立標ヲ北^ノ東ニ望ミ水深五尋半底質細沙ノ地ニアリ但此泊地ハ潮流不規則ニシテ終日周流スル^ヲ多ク其速力ハ大潮ニ於テ大約一節内外ナリ軍艦海門ハ此ニ泊シ屢々擱ミ錨ノ難ニ遭ヒタリ

又該立標ヲ北^ノ東ニ望ム位置ヨリ此一線以東距岸五鏈乃至七鏈ノ處ハ北東信風時中總テ錨地トナスヲ得ヘシ

河口内ニハ夥多ノ支那形船繫泊セリ故ニ東港ヲ認ムル好標ハ該繫泊船ノ帆檣ト南坪庄ノ樹叢トヲ以テ容易ニ之ヲ識別スルヲ得ヘシ
南坪樹叢

東港河口ノ南東方一里八鏈南坪庄ノ傍ニアル叢林ナリ圓黒ニシテ樹頂高サ四十一呎九里外ヨリ望メハ一黒子ノ水平面ニ點スルカ如ク他ニ類似物ナキカ故ニ最顯著ナリ

東港街

河口内ノ南側ニアリ人口四千五百餘廿八年本島平定後憲兵屯所、陸軍守備隊、税關出張所及郵便繼換所等ヲ置カル

明治卅年二月調査ニ依レハ一ケ年間輸出品ノ重ナルモノハ米三十萬石砂糖二千四百萬斤落花生四萬石ニシテ支那形船ヲ以テ廈門地方へ運搬セリ又該地方ヨリ出入スル支那形船ハ半ケ年間ニ約六十艘ナリト云フ
上陸所ハ河口内南岸即チ市街ノ南端ナル橋梁ノ下ニアリ此處低潮ニ干出セス着舟ニ便ナリ

供給品

東港街ニ於テハ米、魚類、鳥肉、鶏卵、豕及野菜等ヲ得ヘシ飲水ハ居民河水ノ上流ヲ汲ミ日用ニ供スレトモ汲取法不完全ナル爲メ鹽素多ク且水舟構造宜シカラズ不潔ニシテ有機物多シ宜シク澆水トナシ一回之ヲ煮沸セサレハ飲用ニ供スヘカラス

軍艦海門ニテ施シタル淡水ノ試験表ヲ左ニ掲ク

地名	味	清濁	反應	鹽素	石灰	アンモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物
東港	甘	透明	弱酸性	稍多量	少量	○	少量	○	○	稍多量
枋寮	○	全	中性	中量	少量	痕跡	少量	○	○	少量
小琉球島 白沙尾庄	○	全	中性	中量	少量	○	微量	○	○	多量

夏季ハ赤痢及「マラリヤ」熱等流行スト雖冬季ハ空氣清爽ニシテ時疫少ナク頗健康ニ適スルカ如シ

潮

朔望高潮七時二十一分○大潮升四呎小潮升二呎小潮差一呎

此地ノ潮齡ハ一日ト四分三ニシテ北東信風時期間午後潮ハ午前潮ヨリ大潮ニ於テ高潮面約二呎五吋高く低潮面約一呎高シ又高潮時ハ約一時二十分早シ然レモ不規則ニシテ屢々午前潮ノ漲落ヲ見サルコトアリ今此ニ掲クル所ノモノハ蓋シ其午後潮ニ於ケルモノニ適當ス其南西信風時期ニハ之ニ反スルモノ、如シ

錨地附近ノ潮流ハ北東信風時期中小潮ニ於テ漲潮流ノ速力四分一節乃至四分三節大潮ニハ約四分三節ヲ增セリ其方向ハ甚不規則ニシテ一定セス終日一方向ニ流ル、コトアリ或ハ反對ノ方向ニ流ル、コトアリ南西信風時期ニ際シテハ果シテ如此ナルヤ否ヤ未タ之ヲ驗セス

淡水溪

東港河口ノ北西方約一里ニアリ淡水溪ノ下流ナリ河口ハ時期ニヨリ多少

變換シ舟路ノ廣狹ヲ異ニスト雖水深二呎乃至六呎東港ニ比スレハ小舟ハ容易ニ出入スルヲ得然レモ内部淺水ニシテ溯行スルヲ得ス皆河口ノ内側ニ繫泊セリ

小琉球島

海圖第三七六號(近刻)ヲ見ヨ

東港ノ南々西八里ニアリ平頂ノ二丘ヨリ成ル北頂ヲ頂山(高サ二九一呎)ト曰ヒ南頂ヲ占山(高サ二六二呎)ト曰フ十九里ノ距離ヨリ望ミ得ヘシ立標

今回頂山(北緯二二度二〇分東經一一二〇度二三分)ニ木造白塗ノ三角形立標(高サ二十七呎)ヲ建設セリ

此島ハ長サ二里半幅六鏈乃至一里ニシテ全岸石花礁纏綿ス○島ノ西岸ハ少シク灣形ヲ成スモ水深キニ過キ泊スヘカラス唯灣底ニ三板路ト稱スル小舟ノ着岸處アルノミ岸上ノ稍北方高サ七十七呎ノ處ニ白堊ノ著屋アル

立標

此溪口(北緯二二度二〇分一五秒東經一一二〇度二六分二〇秒)ニナノ三角形立標(高サ二十七呎)ヲ建ツ此立標ヨリ炭阿脚竹叢ノ中央ハ北二度三〇分西距離六鏈ニ當ル

風及天候實驗ノ概畧

東港及枋寮附近ノ氣候ハ北東信風時期中ハ概シテ晴天多ク雨少ナシ廿九年十二月中ニ於テ雨ハ僅ニ一回ナリ(終日降雨)二十年一月、二月ハ屢々降雨アルモ其量少ナク曇天多シ風ハ午前ハ北又ハ北東風吹キ十一時若シクハ正午ヨリ北々西又ハ北西ニ變シ晚景復北ニ轉スルヲ常例トス風力ハ強大ナラス大抵一乃至三ナリ時トシテ風力ノ増加スルハ北又ハ北東風ニ多ク他風ニ稀レナリ此際ニハ沙塵ヲ起シ陸地ノ物体ヲ望ミ難シ又二月ニ入リテハ時々南方ノ軟風來リ且驟風(驟風ハ南方ノ軟風西ヲ經テ力ヲ増シ

北風トナルニ二回程アリ蓋シ冬期此地ノ常風ハ臺灣海峽ヲ連吹スル北東
信風ノ餘響ニシテ本島ノ海岸ニ沿ヒ北又ハ北西ノ地方風ニ變スルモノナ
リ又一月下旬ヨリ二月ニ於テ朝夕時々靄霧起リ時トシテ濃密咫尺ヲ辨セ
サルコアリ殊ニ二月ニ多ク午後及晚景ヲ然リトス温度ハ華氏最高九八度
十二月中最低四七度^{二月}ナリ(以上十二月一月二月中ノ實驗ニ依ル)

明治三十年四月廿七日印刷
明治三十年四月三十日發行

定價金六錢五厘

發行者 水路部

印刷者 間室親遠

東京市京橋區八官町十九番地
忠愛社

販賣所 東京市麴町區有樂町一丁目一番地
日本郵船株式會社

